

カトリック河原町教会だより

2013年7月

「聖体賛美式」行われる

河原町教会では、6月2日(日)の「キリストの聖体」の祭日のミサに先立ち、午前9時半より聖体賛美式が村上透磨神父、金泰政(キムテジョン)神父によって行われました。

これは、教皇フランシスコが前教皇の引退前の要望を受けて、信仰年のプログラムとして、6月2日の聖体の祭日に全教会で1時間の聖体礼拝の時を持つように呼びかけられたことに応えたものです。「神と人との唯一の仲介者」である主イエス・キリストとの交わりを深め、教皇様の意向(下記)を深く味わう祈りと黙想のひとつでした。



「キリストの聖体」が記念された6月2日午後、教皇フランシスコはバチカンの聖ペトロ大聖堂に、シスターナ礼拝堂付き聖歌隊のコーラスが響く中入場されました。祭壇上の聖体を信者たちとともに礼拝され、沈黙の聖体礼拝と交互して、教会のための祈り等、二つの「意向」で祈りをささげられました。1時間にわたる聖体賛美式の後、教皇フランシスコは聖体顕示台を掲げ、参加者らを厳かに祝福されました。
(バチカン放送)

教皇によって示された意向

■第一の意向

世界中に広がる教会のために、また、一致のしるしである聖体礼拝において今日、一つとなる教会のために祈ります。教会がよりいっそう美しく、傷も汚点もない聖なるもの、汚れなきものとして世の前に立つために、主が教会を、みことばにさらに従順に耳を傾けるものとしてくださいますように。教会が忠実に告知することによって、救いのみことばが、いつくしみを告げるものとして響きますように。また、痛みと苦しみに完全な意味を与え、喜びと平安を取り戻す愛を増してくださいように。

■第二の意向

今も奴隷のような境遇にある人々、戦争、人身

売買、麻薬密売、強制労働の犠牲になっている人々のために祈ります。あらゆる種類の暴力を受けている子供や女性のために祈ります。教会が絶えず注意を怠らず、彼らが助けを求め声なき叫びを聞くことができますように。そうすれば、十字架につけられたキリストを仰ぎ見つつ、教会は暴力のなすがままになっている多くの兄弟姉妹から目を離さずいられるでしょう。さらに、経済的に不安定な状況にある人々、とりわけ失業者、高齢者、移住者、ホームレスの人々、受刑者、そして社会の片隅に追いやられた人々のために祈ります。わたしたちの祈りと連帯によって、彼らが希望のうちに支えられ、人間の尊厳を守る力と勇気を得ることができますように。

ぶどうの会 津和野・萩・山口巡礼の旅

「ぶどうの会」による津和野・萩・山口巡礼の旅が5月28日(火)、29日(水)に、花井神父様ほか31名が参加して行われました。

津和野、萩は河原町教会の主任司祭で、旧聖堂の建設に力を尽くしたヴィリオン神父が赴任された所です。また、フランシスコ・ザビエルが本格的な宣教活動を行った場所でもあり、河原町教会にとっては縁の深い地域です。また、キリシタン弾圧により多くの殉教者が天に召された場所です。

聖フランシスコ・ザビエル、ヴィリオン神父、殉教者をしのび、祈りをささげる巡礼の旅でした。前日から雨模様でしたが、萩キリシタン殉教者記念公園での野外ミサの間、雨はぴたりとやみ、雲の切れ間から一条の光が差し込んできました。実に不思議な体験をした巡礼でした。



マリア様と3尺竿

■「浦上四番崩れ」と呼ばれたキリシタン弾圧の地、津和野と萩

1868年、70年におよそ3,400人もの長崎のキリシタンが流罪の刑を受け、鹿児島、萩、津和野、名古屋など20か所に送られ、改宗、棄教させるための厳しい迫害を受けました。

津和野には153名が送られ、そのうち36名がこの地で殉教しました。萩には約300名が送られ、殉教者は40名を超えたと言われています。ヴィリオ



津和野乙女峠 マリア聖堂で

(巡礼地)

津和野教会礼拝 乙女峠巡礼

松下村塾見学

萩キリシタン殉教者記念公園(野外ミサ)

山口ザビエル記念聖堂礼拝

ン神父は乙女峠の隣の谷、蕪坂(かぶさか)に殉教者たちの遺骨を一つの墓に集め「追福碑」を建立しました。萩では、殉教者たちの墓碑や遺骨を収集し、城址堀内に土地を入手してそこにキリシタン墓地を造りました。

■津和野の殉教者列福運動始まる

津和野の殉教者列福運動が広島教区の前田司教様によって認可され、列福に向けて動き始めています。「ぶどうの会」は毎月の例会で、「津和野の殉教者の列福を求める祈り」をしています。



萩キリシタン殉教者記念公園 野外ミサ

津和野 乙女峠 秘話

過酷な弾圧をうけた殉教者たちの物語は涙無しには語り継ぐことができませんが、記録の中には、多くの美しいことや悲しいことが書き残されています。その一つは、5つの女の子モリちゃんの殉教です。

飢えに苦しんでいる子に役人は、おいしいお菓子を見せて「食べてもいいが、そのかわりにキリストは嫌いだと言いなさい」と言うとその子は「天国の味がもっといい」と答えて永遠の幸せを選びました。

(津和野乙女峠案内小冊子より)

平和旬間行事(八月十一日)で上映予定の「わすれないふくしま」
 二〇一一年三月十一日の東日本大震災による福島第一原子力発電所の事故を受け、原発から四十キロの福島県飯館村から避難したある家族と、警戒区域内で二百頭の牛を飼っている酪農家のそれぞれの日常を記録したドキュメンタリー映画。監督は「忘れられた子供たち スカベンジャー」の四ノ宮浩。

- ・八月八日(木)〜十日(土) 土曜学校 錬成会、フランスの聖フランシスコについて学ぶ。
 - ・八月十一日(日) 平和旬間行事 「わすれないふくしま」を上映予定。参加費 無料。行事予算残額は移住プログラムへ献金する。
 - ・八月十五日(木) 聖母被昇天のミサ 七時 十時半 に行う。
 - ・八月十六日(金) 諸死者追悼ミサ 記名希望者は受付で申し込む。
 - ・八月二十五日(日) 田中司教様霊名のお祝い。
 - ・八月三十一日(土) 教会学校研修会、溝部司教様の霊名フランススコ・ザビエルのお祝いを十二月に行う。
- ▼協議事項
- ・修築特別献金について状況報告と今後の対応を検討する。
 - ・河原町教会所属信徒の実態調査ができている。財務部を中心に至急検討。
 - ・教会と信徒間相互の情報伝達を密にするための方法手段を、部会登録のやり直しを含めて、役員会、評議会を継続協議を行い、早期確立を目指す。

ユスト高山右近列福祈念 講演会

イタリア・ルネッサンスと

安土桃山時代の邂逅 (かいこう)

オルガンティーノ
神父の宣教活動

講師 シルヴィオ・ヴィータ

京都外国語大学イタリア語学科教授
元イタリア東方学研究所所長

講師プロフィール

1954年イタリア ローマ生まれ。

イタリア・ナポリ東洋大学文学部西洋古典学
科卒業、京都大学文学部留学後、米国プリ
ンストン大学修士課程を修了。ナポリ東洋大
学、ローマ・サピエンツァ大学で教鞭を執り、
2001年よりイタリア国立東方学研究所所長
(京都)、2012年より京都外国語大学イタリア
語学科教授、京都大学人文科学研究所特任
教授、明治大学文学部特別招聘教授兼任。
専門は文化史学、東アジア宗教文化論、日
欧・中欧文化交流史。著書多数。

河原町教会では主日のミサ前に、「ユスト高山右近の列福を求める祈り」を唱和しています。高山右近列福運動の一環として、5月26日(日)午後2時からヴィリオンホールで、京都キリシタン研究会、河原町教会キリシタン研究会共催による講演会が開催されました。



シルヴィオ・ヴィータ 教授



オルガンティーノ神父

【講演要旨】

■イタリア人神父オルガンティーノ
日本へ

1532年北部イタリア生まれのイエズス会士オルガンティーノ神父は、1567年3月リスボンを出港し、ゴア(インド)、マカオを経て1570年6月天草に到着しました。約3年数か月の長旅の末に目的地、日本に上陸しました。狭い船倉での船旅は過酷なものでした。当時のイエズス会はスペイン、ポルトガル出身者が主流で、イタリア出身のオルガンティーノにとって、志願者の多かった日本での宣教が許されたのは、大変な狭き門でした。

■高山右近をキリスト者として支える

オルガンティーノ神父は、約40年間を日本で過ごし、このうち30年余りをミヤコ(京都)で活動し、織田信長の信望を得て高山右近をはじめ、多くの武将たちへの布教活動をルイス・フロイス神父らとともにやり、「武士としての忠実、キリスト者としての忠実」のジレンマに苦しむ高山右近ら、キリシタンたちの心の支えとなり、大きな影響を与えました。当時の信徒数は50万人とも70万人とも伝えられています。

■南蛮寺や安土セミナリオの建設

1576年、オルガンティーノ神父は、ミヤコの布教の拠点としていた四条坊門姥柳(うばやなぎ)町に織田信長の認可のもと、高山右近はじめ信徒らの

協力を得て新しい教会を建て、8月15日聖母被昇天の祭日に献堂式が行われました。南蛮寺(なんばんじ)と呼ばれた3階建のこの聖堂はミヤコの名所にもなりましたが、後の秀吉の伴天連追放令により取り壊されたと伝えられています。

みやこの南蛮寺図 桃山時代 狩野宗秀筆
神戸市立博物館 池長猛コレクション

また、1581年、オルガンティーノ神父は日本人の司祭、修道士育成のために、日本初の神学院「安土セミナリオ」を、信長の支援を受けて安土城近くに建てました。高山右近らの協力を得て、キリシタンの子弟たちが入校しました。セミナリオではラテン語や体操、音楽の授業も行われ、グレゴリオ聖歌が歌われ、日本で初めてのオルガンが鳴り響いたと伝えられています。

■日本を愛し、日本での宣教活動に尽力したオルガンティーノ神父

日本をこよなく愛し、日本人との交わりに心を砕いたオルガンティーノ神父は、ミヤコでのキリスト教布教に力を尽くし、秀吉の伴天連追放令後も日本にとどまり、1609年長崎で天に召されました(77歳)。

オルガンティーノ神父の宣教活動を通して、イタリア・ルネッサンス文化と安土桃山時代の邂逅(交わり)がかいま見えてきます。

河原町教会六月評議会報告

▼各部報告

典礼部 日曜日午後の受付業務ができてよ、担当者の公募を行う。方法は典礼部で検討し実施する。

財務部 修築特別献金の主旨説明を今後も続けて行う。

施設管理部 聖堂地下各会議室の使用後の備品(机、椅子、白板等)の収納規定の作成を検討中。

広報部 業務内容の見直しを行い、部会活動としての方針を検討し、七月評議会に報告する。

教育部 レクチオ・デイヴィーナによる主日の福音の分かち合いを九月十七日より始める。毎月第二火曜日午前10時30分〜12時(午前10時からミサ)。指導は鶴山進栄神父。場所は都の聖母小聖堂。十人程度の少人数で行う。参加希望者は教会事務室まで申し込む。

ザビエル訪れ会は高齢信徒の訪問を六月から再開する。

キリシタン研究会の巡礼等の交通手段は、安全のためにタクシーの利用を検討する。高山右近列福に向けての勉強会、巡礼は今後も継続する。

▼行事予定

- 七月十四日(日) 洛東プロテスタント教団 問は桃山教会 午前10時。
- 八月五日(月)〜七日(水) 教区中学生 広島巡礼を行う。

●2013年7月～9月の行事予定●

(8月、9月は予定です。変更の場合もあります。)

祝・記念日		行 事 予 定
7/7	日	評議会 7 月例会
7/14	日	洛東ブロック司教訪問 桃山教会 10 時半
7/19	金	～31 日(水) WYD リオデジャネイロ大会
8/1	木	～7 日(水) 教区高校生大船渡ボランティア合宿
8/4	日	評議会 8 月例会
8/5	月	～7 日(水) 教区中学生広島平和巡礼
8/8	木	～10 日(土) 土曜学校錬成会
8/11	日	平和旬間行事
8/15	木	聖母被昇天 聖母被昇天ミサ 7 時
8/16	金	諸死者追悼ミサ 18 時
8/25	日	田中司教様霊名のお祝い 10 時半ミサ
8/31	土	教会学校研修会
9/1	日	評議会 9 月例会
9/15	日	敬老感謝ミサ 10 時半 ミサ後懇親会
9/22	日	大日山墓地清掃
9/29	日	教会美化デー

お 知 ら せ

◇「レクチオ・ディヴィナによる 主日の福音の分かち合い」が9月17日(火)から始まります。これは次の主日のミサで朗読される福音をグループで読み、黙想し、分かち合い、観想する集いです。10人程度の少人数で行う予定ですので、参加ご希望の方は教会事務室(075-231-4785)までお申し込みください。

日時 毎月 第3火曜日 午前10時30分～12時 (午前10時からミサ)
場所 都の聖母小聖堂 / 指導 鶴山進栄神父 / 主催 河原町教会教育部
※レクチオ・ディヴィナ(LECTIO DIVINA)とは、教会で伝統的に行われている「聖なる読書」のことです。聖書のみことばを単に頭で理解するだけでなく、黙想しつつ、ゆっくり時間をかけながら味わいます。

◇修築特別献金について 5月末日現在 946,409円です。エレベーター設置、会館配水管工事の修築特別献金の振込用紙を用意しました。聖堂入り口、受付、3F事務室に置いてあります。ご協力をお願いします。

◇郵送サービスのお知らせ

「河原町教会だより」を様々な事情で教会に来られない方々に郵送します。ご希望の方は送り先の名前と郵便番号、住所を教会事務室までお知らせください。

河原町教会 ミサの時間

日曜日(主日のミサ)	
7:00	
10:30	
12:00	(英語)
月曜日	6:30
火曜日	6:30 18:30
水曜日	6:30 18:30
木曜日	6:30
金曜日	6:30 18:30
土曜日	6:30
	18:30 (主日のミサ)

信仰の学び

どなたでも自由に、途中からでも参加できます。直接会場にお越しください。

◆信仰入門講座◆

(1F 集会室または 3F 応接室)

火曜日 10:00 花井拓夫神父 (1F)

19:15 一場修神父 (1F)

水曜日 10:00 村上眞理雄神父 (1F)

19:00 花井拓夫神父 (3F)

木曜日 15:00 花井拓夫神父 (3F)

金曜日 15:00 シスター藤田 (3F)

19:15 村上透磨神父 (1F)

◇鶴山進栄神父の個人講座をご希望の方は、教会事務室にご相談ください。

◆信徒養成講座◆

(1F 集会室)

北村善朗神父「秘跡を学ぶ」

7月4日(木) 14:00

9月5日(木) 14:00

※8月の講座はありません

テキスト:『カトリック教会のカテキズム要約』

◆聖書通読会◆

(1F 集会室)

毎週金曜日 14:30～16:00

旧約聖書の創世記から始めて、新約聖書の黙示録まで、グループで輪読しながら全巻を読む集いです。(主催:教育部)